



平成4年8月

第20号

札幌東高等学校同窓会

ごあいさつ

北海道札幌東高等学校同窓会会长

吉中新太郎



同窓会の皆様にはつつがなくお過ご
のことお喜び申し上げますと共に、
平素より同窓会に対する温かいご支援
に深く感謝申し上げます。

毎年、卒業式前日には同窓会入会式
を行なつて新卒者をお迎えしております。
ですが、今春は十二学級五四六名とい
う過去最多数の方々が入会されました。

創立八十五年の歴史と共に同窓会の規
模もますます大きくなつて、各期毎に
開催される同期会・クラス会はより頻
繁に開かれ、更に東京など支部の活動
も年々盛んになつてゐること、誠
に喜ばしいところであります。

また、東校一期生・二期生には、在
学中に小学区制実施に伴つて、かつて
同じ学舎に学んだ者が居住区に従つて、
東西南北四校に分散移管された経緯が
あります。今年はその大方が還暦を迎
えるのを契機に四校合同による同期会

が企画され、先般一期・二期夫々が大
いに旧交を温められたとのことです。
卒業後年月を経るに従い、年代が進
むにつれて懐旧の情が深まつて、途絶
えていた友情の復活を考える機会が多
くなると云われてます。その節は同窓
会名簿の活用、総会への参加などを通
じて、同窓会を大いに利用して戴き、
ぜひ会員相互の友情の交流に役立てて
戴きたいものと考えます。

最後になりましたが、母校では新学
期より阿部校長先生がご着任となり、
同時に教頭先生・事務長も交替されて
新体制のもとで運営されていることを
ご報告し、母校のますますのご活躍と
会員皆様のご健勝を祈念いたします。



ごあいさつ



札幌東高等学校長 阿部 皎

大通り公園の草木の緑も一段と濃くなり、北の都の短い夏も終わりを迎えています。まぶしいほどの陽光を浴びて、噴水に涼を求めつつ、とうきびに舌鼓をうつている観光客の姿も行く夏を惜しむかのような風情で今が盛りのようです。

同窓生各位におかれましては、各々の職域におかれまして、何かとご多忙の毎日かと存じます。日頃は母校と後輩のために何かとご支援、ご厚配を頂き心から感謝を申上げます。

さて、私こと去る四月の人事異動により、ご縁があつて北海道留萌高等学校から札幌東高等学校に勤務を命ぜられました。微力ではありますが、全力を傾注する所存であります。何卒よろしくお願いをいたします。ここに学校概況を報告しあいさつとさせて頂きま

す。

○今春の卒業生の健闘

平成4年度
大学等合格者数
平成4年3月卒業生

大学等	現役	浪人	合計	3年度合計	2年度合計
国公立大(前年)	187 (164)	109 (95)	296 (258)	258	273
私立大(前年)	245 (159)	242 (236)	487 (395)	395	311
短大(前年)	187 (149)	43 (21)	230 (170)	170	153
文部省の大学校	14 (28)	5 (1)	19 (29)	29	36
合計者数(前年)	633 (500)	399 (352)	1032 (852)	852	773

本校全日制課程は、現在三十四学級であります。高等学校の適正規模は最大二十四学級と考えられていますから、マンモス校ぶりが一目瞭然です。今年の三年生は昨年同様十二学級（卒業予定者五六一名）もあり、学年全体の生徒の進路・学力の多様化は昨年と同様です。

このような状況下で今春卒業生の大學生試の合格状況は別表を参照して下さい。

このよき状況下で今春卒業生の大學生試の合格状況は別表を参照して下さい。

○新しい学力観

学校五日制が賛否両論のあるなかで、いよいよ九月から実施されます。この制度の趣旨は、学力を知識や技能の量と考えるのではなく、「自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応し、主体的に考え判断し行動するために必要な資質や能力」として、学校五日制は新しい学力観によってとらえ直そうとしたものです。

本校では、学校五日制を月二回まで実施する対応を、従来の教育の質を落とすことなく推進するための工夫を終りました。

この学校五日制実施に伴う新学力観を考えるとき、本校の教育理念「克己

自彊」の精神は一世紀を経ても、なお、二十世紀に向けて確かな普遍性を持った輝きを誇りを感じております。校訓の精神を一層日々の教育に具現化させる努力が求められていると痛感するこの頃であります。

○追い越せライバル校

本校の先生方は、強い使命感と教育愛を持つ、当面するライバル校を意識して、追い越そうと意欲的な取り組みを行なっています。

近年、生徒の進路も全国的傾向を受けて、道内・外の私大進学者も増えつあります。卒業生が国際社会の中で、世界の多方面において活躍することが期待されます。

来春の大学進学は、結果を見なれば語ることはできません。然し、先生方の骨身を削るような精力的な指導によつて、各種の客観的な校外模試の成績から学力は着実に向上しています。

「東高に入学して良かった。あの三年間は何十年ぶりに相当する価値があった」と将来感じられる東高生活であることを願い全教職員が日々の教育を実践いたしております。

今後とも母校と後輩に一層のご支援をお願い申上げますと共に、同窓会の発展を祈念し、学校の近況報告を兼ね、ご挨拶いたしました。

『昨年の同窓会の準備を振り返つて』

東高22期卒 山崎 博



様が何と多かったことか。

一年前を振り返り心残りを一つ。「で

きるだけ多くの同窓生に同窓会の日時、

場所等をご案内するにはどうしたらよ

いか」検討してもどうもいい知恵が浮かばない。どれもがお金がかかりすぎ

る。難しい問題だと痛感した。

結構楽しいこともあるよ。在校中はクラス単位だったものが同期単位にかわる。なぜか不思議と高校時代には話を

したこともない人同士が親しく打ち解けることができる、同期つていいですよ。』との八期の先輩のアドバイスからはじまつた私たちの同窓会の準備。

「広告」と言つても本当に広告なのかな。本来は代金に見合う、いやそれ以上宣伝効果を期待するのが普通だろうが……、やはり広告とは名ばかりで実質は寄付みたいなものと思つている人の多いのではないだろうか

との意見も出る中、各幹事が分担して、不安な中、リストに従い広告依頼の電話をする。

「いやあ、幹事さん、ご苦労様……」

そのひと言を言つて下さる同窓生の皆



第43回 東高祭

テーマ 「こみあげる激情」

恒例の学祭が7月17日(金)より19

日(日)まで開催され、19日(日)が一般公開日でした。

あいにく小雨の日々でしたが例年どおり、在校生へのジューク配布も第42期卒の宮島智史君、白戸希さん他25名、高女の塩野次子さん、古賀恭子さんの手伝いを戴き無事終了出来ましたこと、一重に皆様方のご協力の賜物と感謝致しております。

又同窓会室の机上のお花を持参下さいました小林副会長にも感謝申し上げます。

修弥様より差し入れを戴きありがとうございました。

同窓会室では在校生も同窓生の方々もなつかしい昔のアルバムに、しばしあがめながら歓談しております。



母校担当

高女24期

秦 泰子

陣内 幸則

中村 紀子

東高9期

秦 泰子

陣内 幸則

中村 紀子

東高19期

秦 泰子

陣内 幸則

中村 紀子

函館支部だより

「同窓会に歴史と伝統の重み」

藤島 健士

去る七月十一日（土）第五十二回の

市立高女・市立第一・東高の函館支部同窓会が、近代北海道の黎明期、歴史の舞台となつた史跡「五稜郭公園」の近くにある由緒ある割烹「稜雲亭」で開催されました。

函館支部の歴史は古く、第一回同窓会は昭和十五年に開かれるなど函館の街と同様、歴史と伝統の重みを感じさせる同窓会となっています。

この半世紀以上にわたつて継続されてきた同窓会も、昭和四十年代まで高女中心のものでした。五十年代に入る東高の卒業生も参加するようになり、また恩師の鈴木新造先生、浅見祐治先生が函館にお住まいになつておられて何度か出席していただきました。

高女二十三期の矢野滋子会長の時代には高女・東高の連携が強まり、有志で「ニセコスキーツアーアー」も実施されました。「函館支部名簿」「同窓会函館支部会則」もでき、更に「函館支部会報」も出されるなど隆盛の一途を辿っていました。この当時、名幹事として同窓会の屋台骨を背負つて活躍されたのが故人となつた平中利明さん（東高

十期）でした。

その後、高女の方々の高齢化や東高の方々の転勤などが相次ぎ、一時期に比べ参加人数も減り、寂しい感じは否めませんでした。

本年度は高女の一期生、田畠昌子さ

んが八十五歳とは思われないカクシャクたるお姿で出席され、東高八期の中澤迪也さんも札幌から駆けつけられ、

東高九期の近藤哲雄さん（現渡島支店長）にも出席していただきなど総勢二十五名の出席があり、ここ数年で最も盛り上がつた同窓会となりました。

また、東高出身の若い方々の出席が増えつたのは、今後の同窓会の発展に大きな期待が持てます。

なお、本年度の役員は次の方々にお願いすることになりました。

会長	長谷川俊勝（東高1期）
幹事	佐藤清一（高女6期）
副会長	宇都宮節子（高女6期）
	檀上美津（東高3期）
	芝木勝久（東高9期）
	田村紀子（東高13期）
	築田 满（東高15期）
	藤島健士（東高16期）
	石本嘉克（東高23期）
	八木森敏男（東高24期）
	藤島健士（東高16期）
	民谷文子（高女23期）

市立高女22期同期会報告

坂東 信子

私共市立高女22期生は、紀元二千六百年の大式典がその秋挙行された昭和十五年四月の入学です。二年生の時には、大東亜戦争が始まり、昭和十九年卒業時には、戦争もきびしい状態になり、全員が挺身隊として就職「仰げば尊し」の歌を「海ゆかば」に変えての卒業式でした。其の後



札幌市立高女22期（昭和19年卒）同期会 於 札幌東急イン H4.6.12

百年前の大式典がその秋挙行された昭和十五年四月の入学です。二年生の時には、大東亜戦争が始まり、昭和十九年卒業時には、戦争もきびしい状態になり、全員が挺身隊として就職「仰げば尊し」の歌を「海ゆかば」に変えての卒業式でした。其の後

暫くは途絶えておりました同期会も、二十年程前からは、二年に一度の開催が定着し、各クラス幹事持廻りで行っています。本年は去る六月十二日午後一時より札幌東急インで、恩師の中村先生、栗林先生、工藤先生、そして遠く岡山県からも杉原先生がお出で下さいました。なつかしい先生方のお話や、思い出話であつという間の二時間が過ぎてしましました。学窓を出て五十年近くの歳月が流れ大部分の方が、六五才の高齢者となりましたが、まだまだ衰えはみえず、今後も身体の続く限り同期会の存続を誓い合い、そのあとは今年米寿を迎えた中村先生のお祝いをするクラス、駒岡保養センターで一泊のクラス会を開く組等、名残りを惜しみながら散会致しました。これからも市立高女と一緒に学んだ者同士力を合せて、お互いに励まし合い、助け合つて、高齢社会を乗り切つて行こうと思つております。最後に母校の益々の発展をお祈り申し上げます。

東京支部だより

在学中は言葉も交した事のない者同士が10年來の友人の様に話合い、協力し合っている姿は不思議な光景でした。

早いもので、私達“高女20期・東高18期”が担当の「第14回市立高女・東高同窓会東京支部総会」から8ヶ月が過ぎ、今年の当番期の東高19期に事務引き継ぎを完了した時、「先輩から受けついだバトンを後輩に無事渡せた」という安堵感と開放感を味わうことが出来ました。

思えば2年前、突然の同期会の案内に誘われて集まつた十数名を核として、同窓会当番幹事会がなんとなく出来上がり準備全般を取り進めて参りました。

を承認いただきました。

続いての懇親会は、一九七〇年代のHBCラジオでミスターディブマンと絶妙のコンビで平日の午後を楽しませてくれた、広瀬（旧姓寺内）真理さん

の軽妙な司会で進められました。

戸田紀美副支部長（高女18期）の杯で始まつた懇親会は、恒例の札幌よりお招きした恩師の沢田芳一先生（社会S39～S55）、河崎正先生（化学S41～S46）のお二人方よりお言葉をいただき、伊藤富美代先生（音楽S19～S42）、荻原獅郎先生（校長S15～S21）、佐々木貞造先生（物理S25～S27）の諸先生の御出席もいただき、楽しい一時を



第2回19期同期会

昭和63年の東高同窓会の当番に19期があり、同期生の名簿作りや連絡に非常に苦労したため、10年以上たった後またやつてくる次の当番のときにはもまた大変なことになる——。そこで役員・幹事の発案で、わたしたち19期生

は平成1年から各組回り持ちで毎年同期会を行うことになった、そうである。

以上の話を聞いたのは、平成2年6月27日のことで、当時わたしの勤務していた岩見沢の職場に会長の北村さんから電話があり、打ち合わせをするか

語らいの中でお過ごしいただきました。

そのあと、全員参加でバブルゲームを楽しみ、勝ち残つた方へ東高応援歌を送るなど全員が一つになつてゲームに興じ、校歌斉唱で往時に思いを馳せた後、佐川清治副支部長（東高3期）の挨拶で閉会となりました。

二十数年ぶりに開わつた“札幌東高”はなつかしい母校であることを再確認出来たこともうれしい収穫でした。

本年度総会の11月8日（日）が、会員各位の、とりわけ当番期の方々の心に残るものとなる事をお祈り致します。

こうたいへんでした。

ら今晩幹事をしている渡辺さんの店「から傘」に集まるように、という話だった。30日に2組の小田（わたし）・村元・斎藤純一・板橋の4人が全日空ホテルのロビーで打ち合わせ、幹事会・会場の日時などを決める。7月2日往復はがきの印刷を依頼し、4日には業者から同期会の住所リストとシールが自宅に送られてきた。

11日19期同期会の1組から10組までの幹事打ち合わせを「政寿司」で。全組からは2名のクラス幹事がそろつた。2組のほかに、斎藤純一と阿部も出席した。この日から8月まで電話連絡や送られてきたはがきをもとに同期会名簿の訂正をする。8月6日で68名の参加予定。村元・佐々木巧一と再度打ち合わせ。

8月11日（土）第2回東高第19期同期会を「全日空ホテル」の23階で行う。会費は五千円で40歳ともなればすっかりおじさんおばさんしている参加者74名に恩師2名も参加。今後はほかの先生にも呼びかけようということになる。わが2組の12名は26階のスカイラウンジで二次会をした。

仕事の合間をぬつての段取りはけつ

私の想い出

伊藤富美代



(音楽S 19~42)

思い出を書くには時が経ち過ぎ又私も年をとりすぎていました。自分でまだ若いつもりで居りますが歌を唄へば風邪声になつたり咽喉がよくまわらなかつたりで年令を思い知られる事の頃です。この秋には八十六才になりますが、目下元気で居ります。

昭和十九年一家で疎開も兼ねて札幌に参りました。丁度市立高女に欠員があるというので当時の伊坂校長に御世話を横浜での十年間、和音感教育による実績の自負をふまえ、この道より他に道なしとの信念で市立高女でも独乙音名で和音感指導をはじめたところよく順応し生徒達のよろこびを感じることが出来ました。当時南六条に小さな映画館がありそこへ何かの行事がある毎に合唱の出演に出かけたものでした。

又当時中島公園の中にあつた放送局

市立高女で混声合唱をはじめました。

そのうちに大変遷となり男女共学となりましたので自然各校とも混声合唱となつたわけです。本校は勿論独乙音名で和音感指導をつづけていました。

昭和二十五年には全道合唱連盟も発足し頻繁にコンクールが始まり東校もあちこちと出かけてはいつも上位入賞し音楽室の壁面を賞状の額で飾りつきました。又NHKの学校合唱コンクールにも幾度か挑戦し、ついに昭和三十七、八年と二年連続で全国二位を獲得し生徒達のよろこび感激は言語に絶するものがありました。以上の長年の積み重ねがいつしか東校合唱色を打立てていった様です。仲間同士の親密さ又先輩後輩の信頼感のようなもの皆合唱の御利益です。

晴天のもと、タカラオ滝野CC午前八時、氏家会長の始球式を合図に三コ一ス同時スタート六四名（昨年比七名増加）の参加をえて開催されました。

アンダーパー十名とコンデショーンも上々で行われました。

特に注目されたのは長谷静子さん（東七期）のハーフ四十三は立派、夫君の長谷泰一氏（東七期）も真っ青になつたとか！例年おしどり夫婦で参加戴いております。旧職員では盛田昌弘先生も参加戴きました。

この大会にいつも協力戴いております氏家ゴフル部会長、吉中同窓会長、大黒副会長、小山同窓会幹事長、ブリヂストンの田中稔さん、シャディ丸万の今野谷廣さん大変ありがとうございました。

◎シニア、グランドシニアの部

团体の優勝は東十五期（ネット二七八）準優勝は東八期（ネット二八六）個人賞は次のとおりです。

◎ 東九期～十五期の部	准優勝	平沢 寛	東二
三位	一位	中橋 利雄	東六
二位	二位	地崎 昭七	東二
一位	一位	牧野 勝夫	東五
二位	二位	得能 勝	東三
三位	三位	坂田 律子	東三
16	27	27	22
89	100	86	28
73	73	82	14
BG	BG	73	91
		66	82
		73	98
		69	80
		BG	82
			82

過日現役の合唱発表会のビデオをじつと拝聴させていただきました。私の時代とは又一段と成長されその日のよき指導者の賜と感謝致しました。又先輩達の温かい応援もうるわしく心にひびくものがあり私もいつ時を昔に帰つて居りました。

優勝 杉中 耕一 東八 976 65 BG
氏名 卒期 H G N
(高女～東八期)



サハリンからの奈良さんを迎えて

小竹 澄
(高女16期)



「おせつちやんがサハリンから帰国」と、いとこの渋田敏枝様(19期)からお電話をいただき、元気でいらっしゃることが分り、お会いする日を一日千秋の思いで待ちました。

ところが出発直前、血圧が上がり中止と聞かされがつかり力が抜けたようでした。

しかしその後の第4次一時帰国43人

平成3年9月10日、プリンスホテルで五十数年ぶりの帰国を迎えての歓迎クラス会を開きました。

出席者は以下の通り。高女14期4組

山口サカエ(小童)、木村俊子、石川千代(清水)、坂斎利子(松田)、新開聰子(若林)、倉ユキ(今井)、沢口貞子(原)、松沢愛子、浅川ヒサ(岩田)、若月朔子(横山)、岩井タミ(渡辺)、東五三子(岩波)、小竹澄(石井)、16期

招待者

アレクセイ君、渋田敏枝(奈良)
息子さんの話では、このごろサハリ

ンでは具合が悪く寝てばかりいたのに、日本に着いて皆さんに会えすっかり元気になったのに驚くとのことでした。

古い昔の学校時代のことや、思い出の数々を昨日のことの様に話していました。私達も泣いたり笑つたりの語らいでした。

のなかに、幸い参加でき、元気な顔を見せて下さいました。それでも息子のアレクセイ君が付添となつての旅行でした。

平成3年9月10日、プリンスホテル

で五十数年ぶりの帰国を迎えての歓迎クラス会を開きました。

出席者は以下の通り。高女14期4組

山口サカエ(小童)、木村俊子、石川千代(清水)、坂斎利子(松田)、新開聰子(若林)、倉ユキ(今井)、沢口貞子(原)、松沢愛子、浅川ヒサ(岩田)、若月朔子(横山)、岩井タミ(渡辺)、東五三子(岩波)、小竹澄(石井)、16期

招待者

アレクセイ君、渋田敏枝(奈良)
息子さんの話では、このごろサハリ

ンでは具合が悪く寝てばかりいたのに、日本に着いて皆さんに会えすっかり元気になったのに驚くとのことでした。

古い昔の学校時代のことや、思い出の数々を昨日のことの様に話していました。私達も泣いたり笑つたりの語らいでした。

ごあいさつ

北海道札幌東高等学校 事務長



本年四月一日付で伝統ある札幌東高等学校の事務長として勤務することになりました。

前任校は苫小牧工業高校で、苫工は

ほとんどの生徒は卒業後就職しますし、本校は道内でも有数の進学校であり、放課後はもとより夏休み冬休みもなく正規の授業外に実力養成講座を実施していることを見聞きし、先生方も生徒諸君も大変な努力をしているものだと感心しております。私も及ばずながら本校のために少しでも役立つよう頑張つているところであります。

道立学校の事務職員となつて本校で九校目の勤務になります。何か特別な行事等を行う場合いつもお世話になるのは同窓生の方々でした。本校の同窓会はこれまで経験したどの学校よりも活発に活動しておられる様子であり、さすが名門札幌東高の同窓会であると感じingております。

同窓会との関わりとして学校内事務局の会計業務を手伝わさせていただいておりますが、これからも公私共にお世話になることと思いますがよろしくお願い申しあげます。

最後に校歌を合唱し、又の機会のお会いを念じながら、名残惜しく散会いたしました。

武田 凱治

平成三年度 東高同窓会 会務報告

平成三年度の主な会務を報告します。

- 同窓会ゴルフ大会（第10回）
平成3年7月18日 タカオ滝野CC 57
- 名 東一期氏家ゴルフ部会長
- 母校学校祭（第42回東高祭）
平成3年7月20日～21日 同窓会ルーム開設、アルバム・パネルを展示、在校生にジユースサービス1、44名
- 第82回同窓会総会
平成3年8月17日 エンペラー 当番
期：8期、22期、41期 テーマ：「あの日、あの時、東高で 今日は18才」会券63名
- 東京支部総会
平成3年11月10日 当番期：東高18期
- 総会決算会・引継会
平成3年11月5日 新旧当番期及び担当役員14名
- 母校支援
平成3年3月 体育文化助成金 150,000円
- 常任幹事会
※ 平成4年1月20日 中村屋旅館37名 会務報告・母校報告・総会準備金他
- ※ 平成4年6月25日 百留屋25名 会務報告・決算報告・総会他
- 幹事会
平成3年7月8日 北専プラザ約110
- 名 総会議案審議・会券配布
- 同窓会入会式
平成4年3月9日 新会員546名・卒業記念品贈呈
- 卒業式・卒業祝賀会
平成4年3月10日
- 新幹事歓迎セミナー
平成4年5月12日 札幌後楽園ホテル 同窓会現況説明他30名
- 同期会等助成
同期会・ゴルフ部会に助成
- 名簿メンテナンス
平成3年8月 岩橋印刷とメンテナンス契約締結。宛名シール打ち出し、各種名簿作成など「オプションサービス」が広く会員に利用されています。※サービス内容は別記の通り。
- 同窓会報（No.19）発行
会と会員の動向、母校近況を掲載し、総会参加者・同期会・東京支部・新会員等に配布しました。
- 執行委員会開催状況
- ※ 平成3年7月8日 総会関係他
- ※ 平成4年2月27日 卒業式関係（記念品・祝賀会）他
- ※ 平成4年4月20日 総会準備、組織申込先へ
- オプション申込先 岩橋印刷（株）
デイアサービス 電話二六一一六〇一
ファックス二六一一六〇一三

平成4年度 事業計画案

事業計画案

- 一、定期総会及び幹事会・常任幹事会を開催します。
- 二、支部・同期会・同好会に対する助成を行ないます。
- 三、母校に対し、学校祭協賛事業と体育・文化活動の助成を行ないます。
- 四、新入会員の同窓会入会式・新幹事セミナーを開催します。
- 五、会員名簿のメンテナンスと幹事名簿整備を継続して行ないます。
- 六、「東高同窓会報」No.20を発行します。

II 名簿メンテナンスを	
ご利用下さい	
オプションサービスはすでに開始され、七月のゴルフ大会や役員会にも利用されています。クラス会や同期会の事務手続きが軽減されますので、大いにご利用下さい。尚、住所等の変更は、名簿はさみこみハガキでその都度ご連絡下さい。又、名簿は事務局か会長（恵愛ビル）へお申込み下さい。詳しくは	◎ 同窓会に参加を ゴルフ、麻雀、テニス、ほか同好の会員による懇親の集まりにふるっております。今年はゴルフの同好会が開かれました。ほか企画やご希望をお寄せください。
申込先へ	◎ 会報の送付を希望される方や、同好会、その他「意見など」を遠慮なく、事務局までお寄せください。

同窓会事務局から

- ◎ 同期会に助成
より多くの呼びかけで、親睦の制度です。どしどしご利用ください。
- △ 申込みはハガキで事務局へ。金額をさらにひろげる同期会への助成制度です。はじめての同期会開催には：三万円
- △ 次回以降の同期会開催には：一円
- △ 申込みはハガキで事務局へ。期名・代表者名（フリガナつき）と電話番号・振込銀行と口座番号・開催日時と会場を記入の上お申込ください。銀行振込制です。
- △ 住所などの変更はハガキで、住所・電話・勤務先などを変更された会員は、事務局又はメンテナンスの会社へハガキでお知らせ下さい。
- △ 年会費について
年会費（五百円）は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。
- △ 会員各位の特段のご協力をお願ひいたします。
- ◎ 会報について
北海道札幌東高校同窓会 小樽〇一一〇〇八〇番
便振替口座 831-16332
☆ 送金振込先
- ◎ 同好会に参加を
ゴルフ、麻雀、テニス、ほか同好の会員による懇親の集まりにふるっております。今年はゴルフの同好会が開かれました。ほか企画やご希望をお寄せください。
- ◎ 会報の送付を希望される方や、同好会、その他「意見など」を遠慮なく、事務局までお寄せください。
- お問い合わせ
011-831-6332
（札幌東高校内）
- 003 札幌市白石区菊水9条3丁目
札幌東高校同窓会事務局
- 五佐藤原・阿部
梅村・飯田
古江田

■会計報告

平成3年度決算書並びに平成4年度予算書（案）

☆一般会計

平成3年度決算書

平成3年7月1日から
平成4年6月30日まで

(収入の部)

科 目	予 算 額	収 入 決 算 額	摘 要
前 年 度 繰 越 金	927,400	927,400	
入 会 金	900,000	1,092,000	546名×2,000円
年 会 費	400,000	335,000	670名×500円
雑 収 入	302,600	690,932	預金利息、剩余金
計	2,530,000	3,045,332	

(支出の部)

科 目	予 算 額	支 出 決 算 額	摘 要
事 務 手 当	200,000	200,000	事務局諸経費、交通費
事 務 用 品 費	20,000	14,702	用紙代他
印 刷 費	150,000	138,576	諸印刷代、名簿保守料
通 信 費	100,000	82,028	郵送料
慶弔 費	100,000	95,300	餞別他
会 議 費	360,000	317,244	幹事会他諸会議
総 会 関 係 費	200,000	300,000	準備金
会 報 発 行 費	140,000	133,900	会報印刷代
学校祭関係費	150,000	144,044	学校祭参加諸費
同期会等助成金	300,000	220,110	同期会、同好会等助成
新会員関係費	260,000	355,800	記念品代、新会員セミナー
体育文化助成金	150,000	150,000	在校生助成
特別会計積立金	300,000	300,000	積立金繰入
雑 費	30,000	206	
予 備 費	70,000	0	
計	2,530,000	2,451,910	

収入額 3,045,332円 - 支出額 2,451,910円 = 残額 593,422円

残額は、札幌銀行菊水支店普通預金 (No.250100) に全額預入。

☆特別会計積立金（信託預入）

[収入の部]

前年度繰越金	2,353,204円
繰 入 金	300,000円 (一般会計から)
収 益 配 当 金	126,613円
合 计	2,779,817円

[支出の部]

次期繰越金	2,779,817円
合 计	2,779,817円

※残高内訳

安田信託銀行札幌支店	
貸付信託 (No.0910163412)	
1,200,000円	
金銭信託 (No.0910163401)	
545,356円	
三井信託銀行札幌支店	
貸付信託 (No.823547201601)	
900,000円	
金銭信託 (No.8235472016)	
134,461円	
合 计	2,779,817円

監査報告書

平成3年度の会計運営につき、月次同窓会会計経理状況表・支出（収入）決議書・証憑書類及び各帳簿・通帳につき監査を行いました。監査の結果、会計処理の原則及び手続きは、公平妥当なものと認められました。

よって、当監査役は上記決算書が平成4年6月30日現在の財務状態を適正に表示していることを報告いたします。

平成4年7月2日 監査役 中村瞳三四 ㊞
監査役 助貞 瑛一 ㊞

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話811-1919)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく
- (1) 名誉会長 1名 現母校校長
(2) 名誉顧問 若干名 旧母校校長
(3) 顧問若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
(4) 相談役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(2) 副会長 5名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(3) 幹事長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(4) 副幹事長 10名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(5) 常任幹事 若干名 正会員中より各期幹事の推薦に基づき会長が委嘱する。
(6) 幹事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は、各期正会員の互選により各期若干名を選出し、その中から正副代表幹事を選出する。
(7) 監査役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。
- 第6条 役員の任期は3年とする。但し再選を妨げない。
- 第7条 役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会長 会務を総括し本会を代表する
(2) 副会長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
(3) 幹事長 役員の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
(4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
(5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
(6) 幹事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
(7) 監査役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を図る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
- (1) 総会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
(2) 幹事会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
(3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
(4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

第3章 事業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 総会の開催
(2) 会誌の発行
(3) 母校発展のための事業
(4) 本会の組織強化のための事業
(5) その他執行委員会で必要と認めた事業

第4章 会計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剰余金をもってこれにあてる。
- (1) 入会金は、2,000円とする
(2) 年会費は、1ヶ年500円とする。

第11条 本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。

第12条 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。

第14条 会則の変更は、総会において出席者の三分の二以上の承認を得なければならない。

第15条 会計業務は、母校事務局で行う。

第16条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。

一部改正～昭和49年8月23日

昭和50年8月25日

昭和51年8月25日

昭和52年7月17日

昭和56年8月22日

昭和62年8月21日

札幌東高校同窓会 役員名簿

役 職	氏 名	卒業期	住 所	電 話	勤 務 先	電 話
顧 問	芦野 トシ	職業 9				
"	松尾 静江	高女22				
相 談 役	石田 アイ	高女 2				
"	小野寺チズ	高女16				
"	五十嵐恒夫	東高 1				
会 長	吉中新太郎	東高 1				
副会長(母校)	秦 泰子	高女24				
" (広報)	小林 幸子	第一高1				
" (総会)	田中 麗子	東高 2				
" (総会)	大黒 正芳	東高 8				
" (総務)	岩城 弘侑	東高11				
幹 事 長	小山 国夫	東高12				
副幹事長(組織)	高木 美子	東高 3				
" (総会)	高木 綏子	東高 4				
" (母校)	陣内 幸則	東高 9				
" (広報)	高橋 正	東高10				
" (会計)	藤枝 靖規	東高14				
" (会計)	本間 公康	東高15				
" (総会)	皆川 博文	東高17				
" (母校)	中村 紀子	東高19				
" (組織)	村山 忠司	東高26				
" (組織)	富樫 勝	東高31				
監 査 役	中村瞳三四	高女21				
"	助貞 英一	東高13				
常任幹事	長尾 貞子	高女 4				
"	菅原 三枝	高女15				
"	佐野 セツ	高女18				
"	坂東 信子	高女22				
"	石井二二子	高女25				
"	塩野 次子	第一高1				
"	横田佐和子	第一高2				
"	氏家 保嗣	東高 1				
"	長谷川 修	東高 2				
"	久末 祐輔	東高 5				
"	鈴木 敬夫	東高 7				
"	遠藤 安倫	東高 8				
"	閑口 晃	東高 9				
"	山本 茂	東高10				
"	佐々木信義	東高12				
"	林 豊	東高14				
"	西谷 洋利	東高15				
"	伊東 康博	東高16				
"	白鳥 英一	東高20				



同窓生にと
つて現在の東
高の様子を知
る機会に仲々
恵まれません。
そこでことし
の東高だより
から抜粹して、母校の模様をご紹介し

●野球
全般応援があつたが惜しくも準決勝
で藻岩高校に惜敗した。

【Aブロック】(麻生)
▽準決勝
札幌藻岩

0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	—	3
0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	—	2

◆東高だよりから
“グラブ地区予選から”

本年度の高体連地区予選が各地で熱
戦を繰りひろげられました。

その戦績を紹介いたします。

●全道大会出場

○卓球

※団体男子、ダブルス(鈴木・大谷)

○テニス

※ダブルス(岡崎・倉知)

○体操

※男子(伊東・市谷・田館・唐原)

○陸上
※男子・四〇〇ハーハードル(山谷)
砲丸(後藤) 高跳び(岡崎・片桐)
幅跳び(得永) 四〇〇リレー・一、
六〇〇リレー
※女子・幅跳び(大沼)
○放送局
※アナウンサー部門

同窓生にと
つて現在の東
高の様子を知
る機会に仲々
恵まれません。
そこでことし
の東高だより
から抜粹して、母校の模様をご紹介し

●男子(村岡) 女子(白瀬)
●高体連札幌支部結果

●全般応援があつたが惜しくも準決勝
で藻岩高校に惜敗した。

【Aブロック】(麻生)

▽準決勝
札幌藻岩

0 0 0 0 0 0 0 1 1 0 — 3

札幌東

(藻) 立田—船木
(東) 山中—宮本

※剣道

団体は男女共予選リーグで敗退
個人女子で川田がベスト8

※バドミントン
女子はベスト8

※サッカー

惜しくも代表決定戦で敗れ全道大会
への出場を逃した。

※バドミントン

男子2回戦、女子は3回戦

※ソフトテニス

男子ダブルスは代表決定戦で敗退
女子は3回戦まで

※柔道

団体は決勝トーナメントで北広島に
惜敗。個人では茶谷・吉羽が代表決
定戦で敗退

※女子・幅跳び(大沼)

○放送局

※アナウンサー部門

進路のしおりから

平成3年度の進学状況

() 前年実績

◆国公立大進学者数

1878210611021176332442934

現役

1091810100010251213202124

浪人

296263116111213127545645058

計

258290010202513112539683546

◆関立同明日東青東芝法創

命治京山浦政伍
計の西志本洋理学工

他大大社院大科院大大大大

2454623003701404

2427907226237131

487125210229938535

3958821444410644124

◆短大・その他進学者数

18713125328732439326816

現役

39443100523014913005

浪人

1013230141210531742848456821

計

8231701273310195101328384216

◆私立大進学者数

そ新大大岩東東筑東弘訓北帶室道小北
阪京路見広教導工畜育商

その他公立立工畜育商

大大大大大大大大大大大大大大大大

1878210611021176332442934

現役

1091810100010251213202124

浪人

296263116111213127545645058

計

258290010202513112539683546

◆総

そ道小札道静札天北道藤弘札北

栄樽大女修幌使星武女前医大

計の養女子大女女藏医大医

短短短短谷子子女子療衛療

他大大大大短短短短短短短短

61918713125328732439326816

現役

39443100523014913005

浪人

1013230141210531742848456821

計

8231701273310195101328384216

◆総
※今年度の会報をお届けいたしました。
・会報ご希望の方は、母校事務局
幹事長の小山へお申し出下さい。
※年会費五〇〇円領収いたしました。

平成四年八月
東高同窓会長